



平成23年10月24日

各 位

上場会社名
代表者
(コード番号
問合せ先責任者
(TEL

鉱研工業株式会社
代表取締役社長 末永 幸紘
6297)
取締役 管理本部長 大谷 幸彦
03-6907-7888)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,674	△8	△50	△70	△7.81
今回修正予想(B)	2,023	△40	△82	△90	△10.04
増減額(B-A)	△651	△32	△32	△20	
増減率(%)	△24.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	2,700	△124	△198	△295	△32.93

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,550	220	140	100	11.15
今回修正予想(B)	5,800	125	48	30	3.35
増減額(B-A)	△750	△95	△92	△70	
増減率(%)	△11.5	△43.2	△65.7	△70.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	6,691	296	221	29	3.26

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,346	△66	△74	△8.25
今回修正予想(B)	1,796	△87	△87	△9.78
増減額(B-A)	△550	△21	△13	
増減率(%)	△23.4	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	2,211	△224	△319	△35.66

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,750	80	65	7.25
今回修正予想(B)	5,000	18	10	1.12
増減額(B-A)	△750	△62	△55	
増減率(%)	△13.0	△77.5	△84.6	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	5,870	185	51	5.78

修正の理由

【連結業績予想】

第2四半期(累計)業績予想

第2四半期連結累計期間につきましては、前期好調であったボーリング機器関連の中国向け販売が、鉄道建設停滞等の影響を受け、大幅に受注が減少したことから、売上高は前回予想比651百万円減の2,023百万円となる見込みであります。

損益につきましては、当社グループが得意とするビッグマン・レイズボーリング等の大型工事において原価低減を図ったことに加え、経費削減に注力しましたが、売上高の減少に伴い営業損失、経常損失はそれぞれ前回予想比32百万円増の40百万円、82百万円となり、四半期純損失は前回予想比20百万円増の90百万円となる見込みであります。

通期業績予想

中国における鉄道建設等については、当面、停滞が続くものと見られ、これに伴い海外販売の伸び悩みが見込まれることから、売上高は前回予想比750百万円減の5,800百万円を予想しております。

売上高の減少に対応して一層の原価低減、経費削減に注力する所存ではありますが、売上高の減少に伴い、営業利益は前回予想比95百万円減の125百万円、経常利益は前回予想比92百万円減の48百万円、当期純利益は前回予想比70百万円減の30百万円を予想しております。

【個別業績予想】

上記連結業績予想と同様の理由によるものであります。

(注)本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上